

DREAMERS

4号

「関わり合いをとおして自己理解・他者理解を深め、仲間とともに夢を描く生徒」へ

救急救命講習会を振り返って

6月3日、5日、6日の3日間で全クラス救急救命講習会を受講しました。応急手当や緊急事態の心肺蘇生法について学びました。みなさんの振り返りを紹介します。

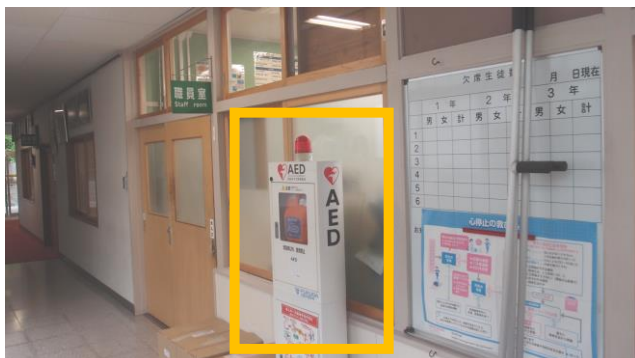


救命処置の手順が分かったので、もし、倒れている人がいたら自分から助けられるようにしたい。AEDは音声で説明してくれるけど、心肺蘇生の方法はとても難しいので地域の講習会に自主的に参加して一人でも多くの命を救えたらいいなと思いました。

胸骨圧迫を初めてやってみて疲れるし、力があるんだなと思いました。たくさんの人と代わるがわる行えば質を落とさずに続けられることを知りました。講習を通して「自分たちにも誰かを救うことができる」と自信がもてました。

AEDは機械の電源を入れるだけで順番を音声で教えてくれるのでとても便利だなと思いました。また、袋の中には幼児用のものも入っていたので細かいところまで考えられているなと思いました。学校内、通学路のどこにAEDがあるのかを探してみても把握しておきたい。

今回の講習会で素早く動く、対応することがすごく大事ということが分かりました。安全確認、大声で応援を呼び、119番通報とAEDを持ってきてもらう。そして呼吸がなかったら胸骨圧迫をする。AEDが到着したらAEDを使用する。これを周り協力しながら行う。勇気を出してやれるようにがんばります。



三好中学校には職員室の前の入り口と体育館の後ろの入り口にAEDが置いてあります。ここにあることを知っているのと知らないのとでは人の命を助ける時間に、大きく関わってきます。この講習を受講して、生徒のみなさんでも緊急事態には心肺蘇生を施していいという証明の普通救命講習修了証が配られました。いざというときには勇気を出して助ける側に回れる人になってほしいです。先生たちも1年に1度は必ず同ような講習を受けています。